

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		森林整備担い手対策事業費助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040901000797
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0409	自然環境の保全			主要事業	対象外		農林課
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト	対象外		
	施策名	09	自然環境の保全			未来PJ事業	対象外	グループ	農林G
	基本事業名	01	森林及び里山の保全			合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	02	01	02	00	林業総務事業		
法令根拠		茨城県林業担い手育成強化対策事業費補助金交付要項							
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>雇用条件等を理由とした離職が多い就業後10年以内の林業就業者の定着を促進し、林業担い手の確保・育成を行うために、県の要請に則って補助を行う。</p> <p>対象事業：空間西茨城森林組合 事業内容：就業者定着促進事業 (健康保険加入促進、雇用保険加入促進、厚生年金保険加入促進)</p> <p>計画書の提出 (組合→市→県) → 内示→補助金申請 (市→県) → 交付決定通知 (県→市) → 補助金申請 (組合→市) → 交付決定通知・補助金振込→実績報告 (組合→市→県)</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
			補助対象団体	団体	1.00	1.00	1.00
計画書の提出 (組合→市→県) → 内示→補助金申請 (市→県) → 交付決定通知 (県→市) → 補助金申請 (組合→市) → 交付決定通知・補助金振込→実績報告 (組合→市→県)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
			林業事業者	団体	1.00	1.00	1.00
森林整備の担い手 (空間西茨城森林組合)			3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	就業後10年以内の林業就業者	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
			事業費の面積案分に伴う市の補助割合	%	34.00	33.00	33.00
就労条件の改善や福利厚生の充実			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	60	41	155	155
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	60	41	155	155
	事業費計 (A)	千円	120	82	310	310	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	19.00	19.00	19.00	19.00	
	人件費計 (B)	千円	55	55	55	55	
トータルコスト (A)+(B)		千円	175	137	365	365	

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	19 負担金補助及び交付金	82		19 負担金補助及び交付金	310	
		合計	82		合計	310

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	森林整備担い手対策事業費助成事業	事務事業No.	40901000797	所属課	農林課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 近年、林業従事者は、林業全体の不景気や高齢化によって減少しており、森林の荒廃が危惧されるため、県の指導のもと、担い手育成を目指し事業が開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域林業の担い手(森林組合)に対し、労働条件を改善、福利厚生を充実させる補助事業を行うことで、桜川市の林業の担い手育成強化に結びつける。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域林業の発展のためには、森林組合のような組織は不可欠であり、市との連携は重要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	林業従事者が減少しており、現状では止めようがない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	補助金の廃止は、森林組合の運営に大きく影響する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない	特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費が補助金額となるので、削減は成果の低下につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	森林の整備は、森林所有者のためだけでなく、水源涵養、災害防止、二酸化炭素削減等市民全体にとって不可欠なものであり、そのためには森林組合の協力が重要である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 補助金交付事業として、適正に実施している。																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(6) 事務事業優先度評価結果																						
	成果優先度評価結果 ⑤																						
	コスト削減優先度評価結果 ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認